



...for patient comfort.

2024年3月期 第1四半期決算説明資料

決算発表 : 2023年8月2日

決算説明会 : 2023年8月3日

日本ライフライン株式会社

東証プライム市場 : 7575

Unauthorized copying prohibited.

Copyright © 2023 Japan Lifeline Co., Ltd. All rights reserved.

1Q損益 ハイライト	売上高		営業利益		四半期純利益	
	12,954 百万円*1	YoY ▲14 (▲0.1%)	3,176 百万円	YoY +468 (+17.3%)	2,330 百万円	YoY +384 (+19.7%)
	✓ 市場の回復や脳血管の販売が想定以上に進捗。減収要因をほぼ吸収し、 わずかに減収 ✓ 自社製品の売上増、在庫の廃棄損・評価損の減少により、営業利益、四半期純利益が 大幅に増益					
品目別 売上高ハイライト	リズムデバイス YoY +11.4%		EP/アブレーション YoY ▲5.9%			
	↑ (+) S-ICDが好調 (+) ペースメーカーが堅調		↘ (-) Baylis社製品*2の商流変更 (+) AF症例数*3の増加 (+9%程度)			
	心血管関連 YoY +9.2%		消化器 YoY ▲36.4%			
	↑ (+) 腹部用ステントグラフトが好調 (+) 脳血管関連の大幅増		↓ (-) Orsiro含むCI事業*4の縮小 (+) 胆膵領域の新製品の寄与			
ガイダンス	✓ 期初(2023/5/10発表)の通期業績予想は変更なし					

*1 金額百万円未満は切捨（以降のスライドも同様）

*2 RF Needle等 2023/3末でBaylis社との独占販売契約を終了

*3 心房細動(Atrial Fibrillation)

*4 冠動脈インターベンション(Coronary Intervention)

2024/3期 連結業績概況 (1Q)

(単位:百万円)	2024/3期			2023/3期
	1Q実績	YoY	%	1Q実績
売上高	12,954	▲14	▲0.1	12,969
売上総利益	7,887	+428	+5.8	7,458
構成比	60.9%			57.5%
販管費	4,711	▲39	▲0.8	4,751
構成比	36.4%			36.6%
営業利益	3,176	+468	+17.3	2,707
構成比	24.5%			20.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,330	+384	+19.7	1,946
構成比	18.0%			15.0%

自社製品比率 59.8% 54.6%

売上高 YoY ▲0.1% 減収

- (-) Baylis社製品の商流変更 (▲914M)
- (-) CI事業の縮小 (▲302M)
- (+) AF症例増を背景に、EP/アブレーションの自社製品^{*1}は四半期ベースで過去最高を更新 (+633M)
- (+) リズムデバイスの好調 (+352M)
- (+) 脳血管・消化器の新領域が良好な進捗 (+195M)

営業利益 YoY +17.3% 増益

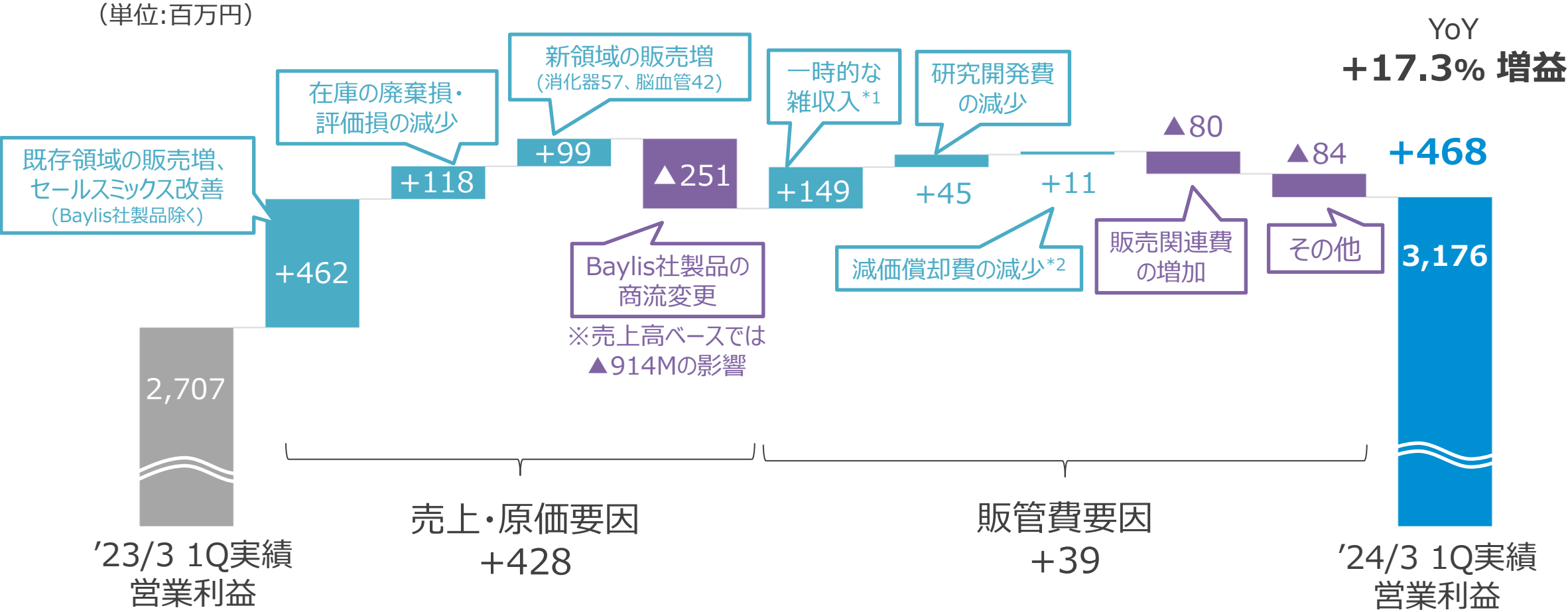
- (+) 自社製品比率の上昇 (+5.2pt) に伴い、売上総利益率の改善 (+3.4pt)
- (+) 在庫の廃棄損・評価損の減少 (118M)
- (+) 販管費の減少 (39M)

四半期純利益 YoY +19.7% 増益

*1 EPカテーテル(EP Star)、心腔内除細動カテーテル(BeeAT)、食道温モニタリングカテーテル(Esophastar)

2024/3期 連結営業利益 増減分析 (1Q)

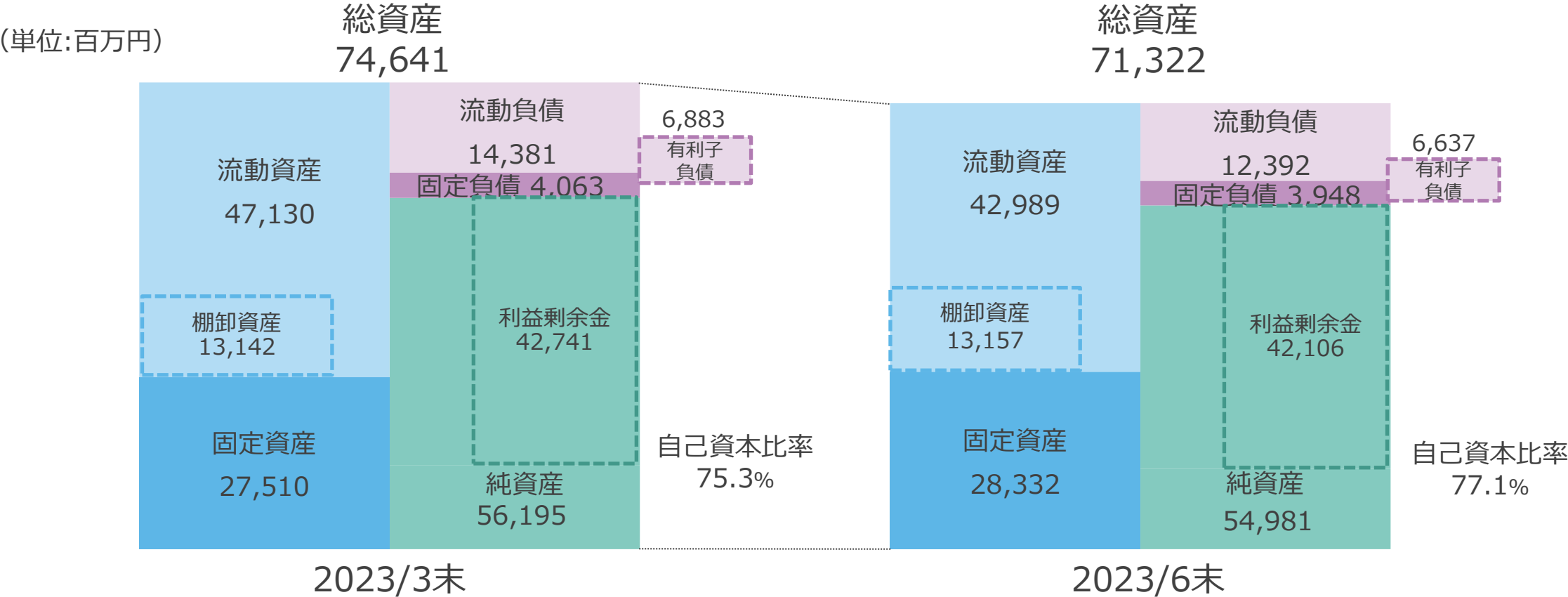
- ✓ 既存領域と新領域の販売がともに順調に進捗。Baylis社製品の商流変更に伴うマイナス影響や販売関連費の増加を吸収し、**大幅な営業増益**



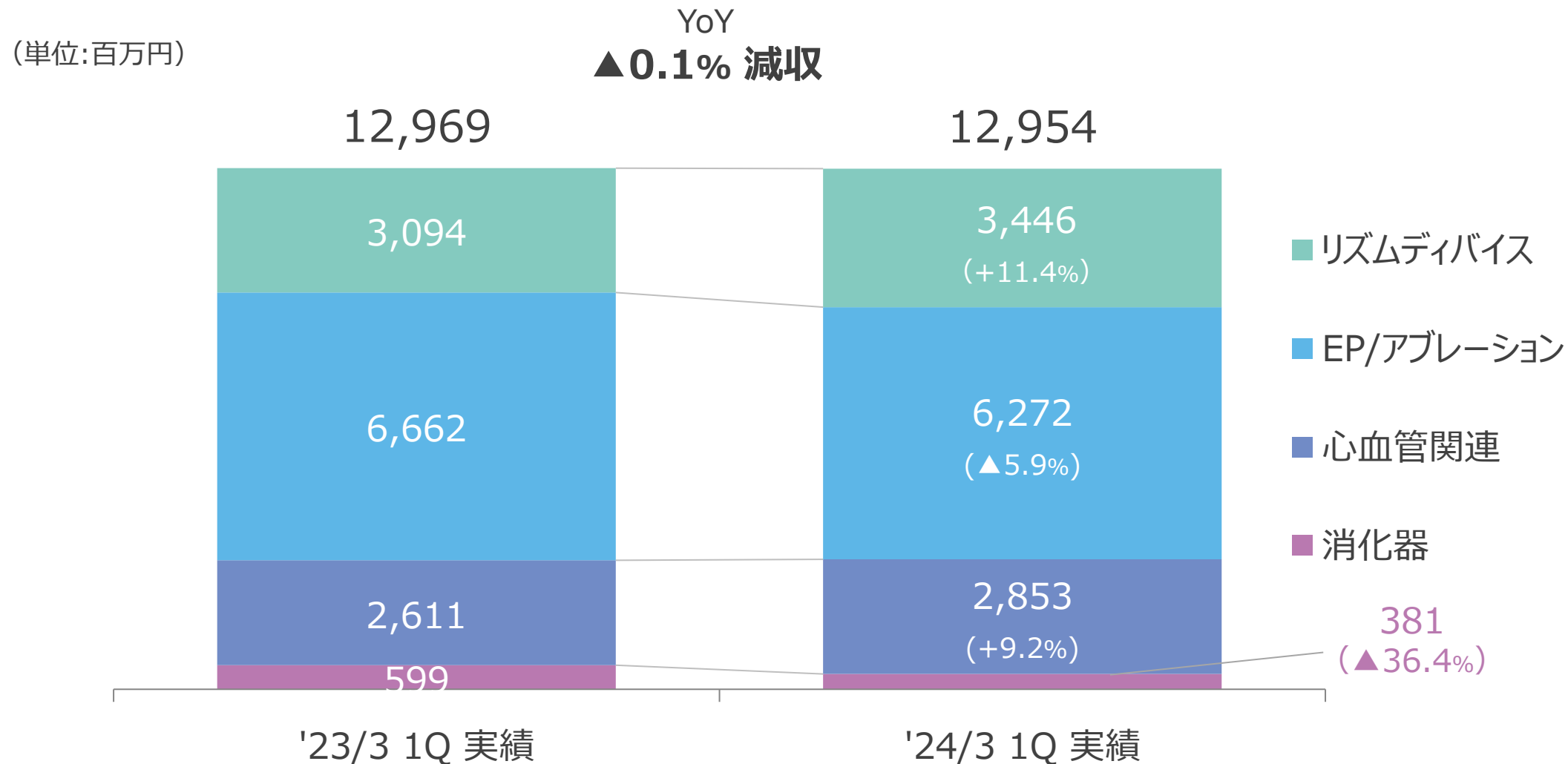
*1 Baylis社製品の販売契約終了に伴う在庫移管に関連する雑収入等
*2 2024/3期から償却方法を定率法から定額法に変更

2024/3期 連結貸借対照表 (1Q)

- ✓ 流動資産： 法人税及び配当金の支払、自己株式の取得等により、現金及び預金が減少
- ✓ 固定資産： 投資有価証券の増加等により増加
- ✓ 純資産： 配当金の支払や自己株式の取得等により減少



- ✓ 減収要因としてBaylis社製品の商流変更（EP/アブレーション）やCI事業の縮小(消化器)があったが、リズムデバイスや心血管関連の増収により、売上高は前期並みを維持



ICD関連が大きく伸長、ペースメーカー関連も堅調に推移し、前年同期比で2桁増収

- ① ペースメーカー関連は、対面営業でリードの植込み手技を補助するカテーテルを訴求した結果、シェア微増
他社の安価販売や新製品の影響は一巡
- ② ICD関連は、S-ICDの拡販施策が新規採用施設の増加やリピート率向上につながり増収。
T-ICDも電池交換に伴う交換症例を継続的に獲得
- ③ その他は、AEDは販売・レンタルともに好調

(単位:百万円)	2024/3期			2023/3期
	1Q実績	YoY	%	1Q実績
① ペースメーカー関連	1,344	+65	+5.2	1,278
② ICD関連	1,994	+261	+15.1	1,732
③ その他 ^{*1}	108	+25	+30.3	83
リズムデバイス 計	3,446	+352	+11.4	3,094

*1 AED含む



症例数増に伴い自社製品は伸長するも、Baylis社製品の商流変更^{*1}の影響により減収

- ① EPカテーテルは2桁増収。AF症例数は前年同期比で**+9%程度**の増加^{*2}(当社推定)
他社で発生している供給問題は自社製品の販売に追い風
- ② アブレーションカテーテルは減収。HeartLight X3の供給不足で在庫に制約ある状況が継続
- ③ その他は、Baylis社製品の商流変更により大幅減収

(単位:百万円)	2024/3期			2023/3期
	1Q実績	YoY	%	1Q実績
① EPカテーテル	5,578	+611	+12.3	4,967
② ABLカテーテル	228	▲93	▲29.0	321
③ その他 ^{*3}	465	▲908	▲66.1	1,374
EP/アブレーション 計	6,272	▲390	▲5.9	6,662

^{*1} 2023年3月末でBaylis社との独占販売が終了。4月以降はBoston Scientific Japan社との販売パートナーシップ体制に移行。販売支援の実績に応じて、手数料を受領

^{*2} 参考：通期ガイダンスにおけるAF症例数の伸び率の前提は前年比+6%程度

^{*3} スティールカテーテル、RF Needle等を含む



腹部用ステントグラフトや塞栓用コイルが成長を牽引

- ① 人工血管関連は、人工血管と腹部用ステントグラフトがシェアを着実に増加させ、堅調
- ② 脳血管関連は、前年同期比5.7倍の大幅増収。塞栓用コイルは順調にシェア拡大。
さらに、血栓吸引カテーテル「Esperance」を発売、計画を上回る良好なスタートを切る
- ③ その他は、心房中隔欠損閉鎖器具が低調な症例数を受け減収

(単位:百万円)	2024/3期			2023/3期
	1Q実績	YoY	%	1Q実績
① 人工血管関連	2,639	+140	+5.6	2,499
② 脳血管関連	135	+111	+473.3	23
③ その他 ^{*1}	78	▲11	▲12.5	89
心血管関連 計	2,853	+241	+9.2	2,611

*1 心房中隔欠損閉鎖器具等を含む



胆膵領域の新製品が成長軌道に乗る

- ① 消化器関連は、胆管チューブステント「REGULUS」や肝癌ニードル「arfa」の販売が好調に推移
胃・十二指腸用ステントは新モデルで不具合が発生、自主回収を実施。リローンチに向けた設計検証を行う
- ② その他は、CI事業終了に向け事業規模が縮小したことで大幅減収

(単位:百万円)	2024/3期			2023/3期
	1Q実績	YoY	%	1Q実績
① 消化器関連	220	+83	+61.6	136
② その他 ^{*1}	161	▲302	▲65.2	463
消化器 計	381	▲218	▲36.4	599

*1 薬剤溶出型冠動脈ステント「Orsiro」、ガイドワイヤー、バルーンカテーテル等を含む

1. 新領域の拡大

消化器

胆管チューブステントの採用施設数が順調に増加(ターゲット施設採用率: 20%)

心血管関連(脳血管)

血栓吸引カテーテル「Esperance」を発売済み(1Q)

2. 競争力のある製品の継続的導入

EP/アブレーション

ヘモネティクスジャパン社と止血デバイス「VASCADE MVP」の独占販売契約を締結
当期から販売開始(3Q~)

EP/アブレーション

心腔内除細動カテーテル「BeeAT」の販促推進、ラインナップを拡充(3Q)

心血管関連(人工血管)

オープンスtentグラフト「Frozenix」のラインナップを拡充(2Q)

3. 資本効率を意識した経営の強化

株主還元

自己株式の取得が進捗^{*1}(進捗率 44%^{*2}, 2023年7月末時点)

^{*1} 期間: 2023年5月11日~2024年2月29日 上限: 普通株式 300万株(発行済株式数(自己株式を除く)の3.9%)または40億円

^{*2} 取得株数ベース

- ✓ 仕入先 : ヘモネティクスジャパン合同会社
- ✓ 商品 : 大腿静脈用止血デバイス「VASCADE MVP」
- ✓ 販売 : 2024/3期 3Q~
- ✓ 市場 : 静脈止血デバイスの潜在的な市場規模として、約30~40億円を想定

患者様のベネフィット	医療従事者のベネフィット
• 手術時間の短縮 • 安静時間の短縮	• 止血時間の短縮 • 本来業務である患者様ケアの時間確保

患者様と医療従事者の双方の課題を解決



VASCADE MVP

- ✓ 仕入先 : Wallaby Medical社
- ✓ 商品 : 血栓吸引カテーテル「Esperance アスピレーションカテーテル」
- ✓ 販売 : 2024/3期 1Q~
- ✓ 市場 : 急性期脳梗塞 市場規模 120億円 (2023年) 市場成長率はCAGR +8%程度
このうち、血栓吸引カテーテルは市場の約1/3を占める主要なデバイス

【商品の特徴】

- 内腔が大きい構造で、大きな血栓の回収が可能
- 先端部の柔軟な通過性と術者の手元安定性を両立、蛇行血管でもスムーズなアクセスを実現



急性期脳梗塞の治療デバイス第1弾

Esperance
保険償還価格 273,000円

参考資料

事業領域	品目	2024/3期 1Q 実績		2024/3期 2Q 予想		2024/3期 3Q 予想	
リズムデバイス	ペースメーカ関連		他社製品影響一巡、 シェア微増				
	ICD関連		S-ICD好調、 交換症例獲得				
EP/アブレーション	EPカテーテル		AF症例数増加、 他社供給問題				
	ABLカテーテル		品薄継続、 拡販遅れ		品薄状況改善		
	その他		Baylis社製品商流 変更		AF症例数増加		止血デバイス発売
心血管関連	人工血管関連		シェア増、季節性の 減(YoY+5.6%)		シェア増、季節性の 減(YoY+3~4%)		シェア増、季節性の 増(YoY+3~4%)
	脳血管関連		施設数の拡大、 血栓吸引剤の発売		施設数拡大、 新商品の導入効果		施設数拡大、 新商品の導入効果
消化器	消化管関連		堅調推移		自主回収の影響 (胃・十二指腸用ステント)		
	胆膵関連		チューブステントの拡 販		同左		同左

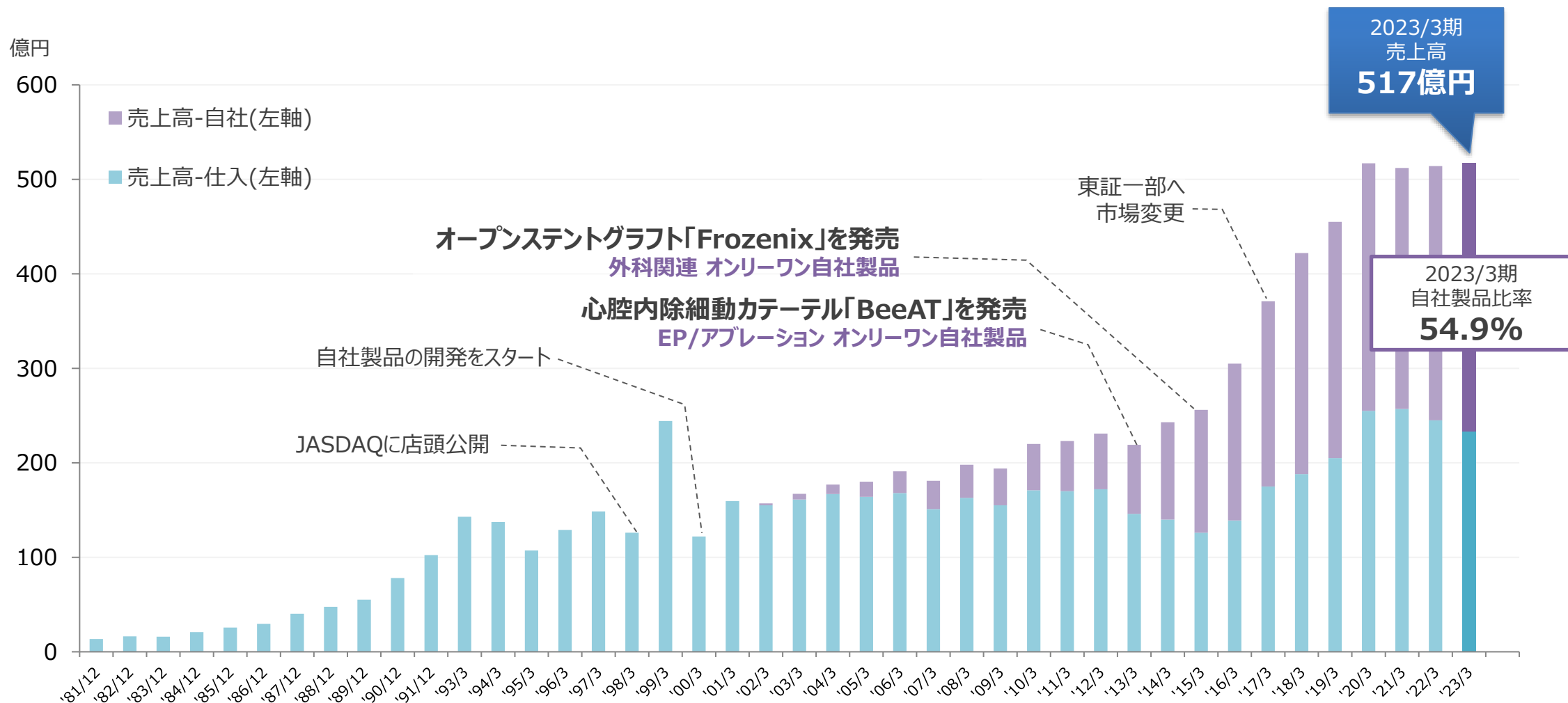
* 矢印は前QからのQoQベースでの売上高に影響する事業環境のトレンド変化を表す（上向き、横ばい、下向きの3段階で評価）
 前回からの変更箇所は、前回のトレンド評価を併記。コメントは赤字

ページ	用語・略称	
7	リード	絶縁された伝染ワイヤーと電極で構成され、心臓自身の電氣的な活動（電気信号）をリズムデバイス本体に送り届け、また、必要に応じて電気刺激を心臓に与える
7	AED	Automated External Defibrillator（自動体外式除細動器）の略称
8	AF（心房細動）	Atrial Fibrillation（心房細動） 房と呼ばれる心臓内の部屋が小刻みに震えてけいれんする心臓の病気
8	Baylis	Baylis Medical Company, Inc.
9	心房中隔欠損閉鎖器具	先天的に心臓の左右の心房を隔てる壁に穴が開いている疾患（心房中隔欠損症）を、外科手術を行うことなく閉鎖することが出来る植込み型の医療機器
9	ステントグラフト	動脈瘤などの治療に使用される、ステントという金属性の網状の筒に人工布を縫い付けた人工血管カテーテル（体に入る細い管）に収納し、患部まで挿入して動脈内で広げ、血管を補強する
9	血栓吸引カテーテル	血液中でできた血の塊（血栓）を吸引・回収するためのカテーテル
10	CI（冠動脈インターベンション）	脚の付け根や腕、手首などの血管から、カテーテルという医療用の細く柔らかいチューブを差し込んで、冠動脈の狭くなった部分を治療する手技
10	Orsiro	Biotronik社製薬剤溶出型冠動脈ステント 冠動脈内に留め置かれた後に、薬剤が徐々に血管内に溶け出し、血管が再度詰まってしまう再狭窄を防ぐ
13	CAGR	Compound Annual Growth Rate（年平均成長率）の略称 複数年の成長率から、1年あたりの幾何平均（比率や割合で変化するものの平均）を求めたもの

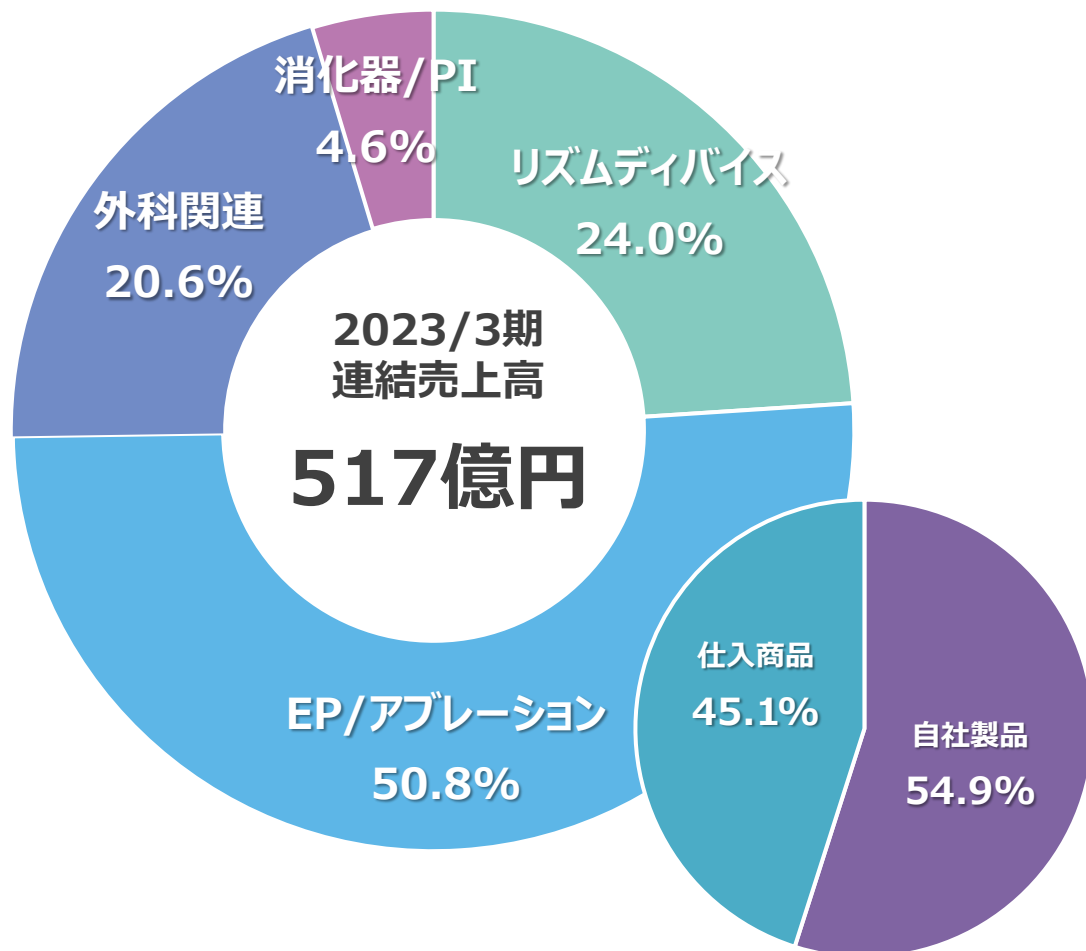
Appendix 会社概要等

商 号	日本ライフライン株式会社
代 表 者	代表取締役社長 鈴木啓介
本 社	東京都品川区東品川2-2-20 天王洲オーシャンスクエア
設 立	1981年2月6日
上 場 市 場	東京証券取引所 プライム市場
証 券 コ ー ド	7575
事 業 内 容	医療用機器の製造、販売、輸出および輸入販売
資 本 金	2,115百万円
決 算 期	3月31日
従 業 員 数	連結1,166名/単体962名（2023年3月31日 現在）
事 業 所	営業拠点48ヶ所、羽田ロジスティックスセンター、関西ロジスティックスセンター、 研究開発統括部、戸田ファクトリー、小山ファクトリー、市原ファクトリー、 天王洲ACCADEMIA（研修センター）（2023年3月31日 現在）
連 結 子 会 社	JLL MALAYSIA SDN. BHD.

- ✓ 業界で類を見ないメーカー/商社のビジネスモデルと、オンリーワンの自社製品を軸に成長

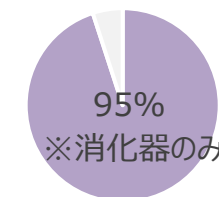
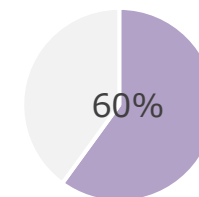
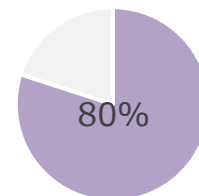
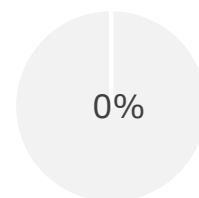


- ✓ メインの疾患領域は**心臓血管領域**であり、4つの品目区分に分類される
- ✓ 新領域として、**消化器**と**脳血管**にも注力し、疾患領域を拡大へ



リズムデバイス	不整脈を治療する体内植込み型の医療機器 (BSJ社*1との長期独占販売契約)
EP/アブレーション	不整脈の検査や治療を行う使い捨てのカテーテルなどの医療機器
外科関連	- 大動脈瘤などを治療するための人工血管やステントグラフトなどの医療機器 - 脳動脈瘤や脳卒中を治療するための医療機器
消化器/PI	消化器疾患を治療する医療機器

自社製品比率



*1 Boston Scientific Japan社 (Boston Scientific Corporation (米)の日本子会社)

✓ 不整脈(心臓の拍動が遅くなる、または早くなる疾患)を治療する体内植込み型の医療機器

ペースメーカー関連

心臓ペースメーカー

商品名 : Accolade (Boston Scientific社製)



心臓の拍動が遅くなる不整脈(徐脈)に対して、人工的に電気刺激を与えることで拍動を保ちます。

保険償還価格*1

シングルチャンバ 454,000円

デュアルチャンバ 593,000円

CRT-P (両心室心臓ペースメーカー)

商品名 : Visionist X4 (Boston Scientific社製)



重症心不全に対して、心臓の左右両方の心室に電気刺激を与える、心臓の同期不全を整えポンプ機能を改善します。

保険償還価格

1,290,000円

I C D 関連

T-ICD (経静脈植込型除細動器)

商品名 : Resonate (Boston Scientific社製)



心臓の拍動が早まる不整脈(頻脈)のうち、致死性の不整脈である心室細動の発生を検知し、電気ショックを与え、拍動を正常な状態に戻します。

保険償還価格

シングルチャンバ 2,730,000円

デュアルチャンバ 2,820,000円

S-ICD (完全皮下植込型除細動器)

商品名 : Emblem MRI (Boston Scientific社製)



T-ICDは静脈を介し心臓内にリードを留置しますが、S-ICDは全ての機器を皮下に植込み血管内や心臓へ異物留置がありません。

保険償還価格

3,120,000円

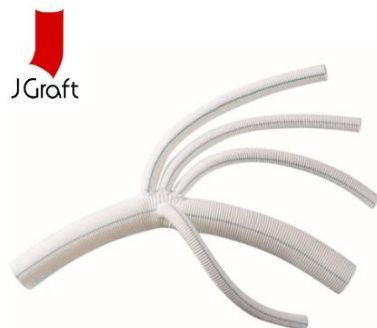
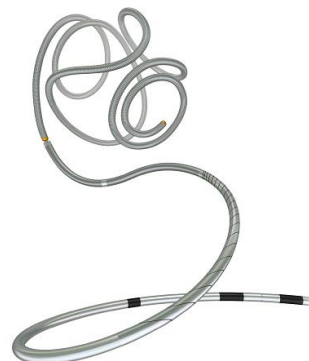
*1 保険償還価格は2023年4月1日現在

✓ 不整脈の検査や治療を行う、ディスプレイの電極付カテーテルなどの医療機器

E P カテーテル関連		A B L カテーテル関連		その他
EP（電気生理用）カテーテル 製品名：EP Star, Libero, Snake, Esophastar（自社製品）  不整脈の診断や治療方法の適応を判断する検査に用います。カテーテル先端の電極で、心臓内電位を測定したり、不整脈を誘発させて原因を特定します。 保険償還価格*1 標準型（電極数3〜5） 46,800円 温度センサ付（エソファスター）85,400円	心腔内除細動カテーテル 製品名：BeeAT（自社製品）  アブレーション治療時に発生する心房細動に対し、心腔内で除細動を行うことで、低侵襲に心房細動を停止させます。またEPカテーテルとしての診断機能も合わせ持っています。 保険償還価格 214,000円	アブレーションカテーテル 製品名：Ablaze（自社製品）  頻脈の原因となる心臓内の異常な電気刺激の経路を、カテーテル先端部の電極から流す高周波電流で焼き切ることで治療します。 保険償還価格 通常型 117,000円	内視鏡レーザーアブレーションカテーテル 商品名：HeartLight X3（Cardio Focus社製）  バルーン内部からレーザーを照射し、頻脈の原因となる部位を焼き切り治療します。カテーテル内部の内視鏡で、正確な留置・焼灼が可能です。 保険償還価格 505,000円	ステーラブルガイドングシース 商品名：Guidee Leftee（自社製品）  診断又は治療のためのカテーテルを経皮的に心臓に挿入するために使用されます。先端部は、ハンドルの回転ノブを操作することで、屈曲させることができます。 保険償還価格 118,000円

*1 保険償還価格は2023年4月1日現在

- ✓ 大動脈：本来の機能が失われた血管を人工の器官に置き換え、治療するための医療機器
- ✓ 脳血管：脳梗塞や脳動脈瘤を治療するための医療機器

人工血管関連			脳血管関連														
人工血管 製品名：J Graft（自社製品）  開胸手術により動脈瘤などで痛んだ血管を切り取り、人工血管に置き換え治療します。 保険償還価格*1 <table><tr><td>分岐なし（ストレート）</td><td>117,000円</td></tr><tr><td>1分岐（T字）</td><td>179,000円</td></tr><tr><td>2分岐以上（4分岐）</td><td>245,000円</td></tr></table>	分岐なし（ストレート）	117,000円	1分岐（T字）	179,000円	2分岐以上（4分岐）	245,000円	（腹部用）ステントグラフト 商品名：AFX2, Alto（Endologix社製）  外科手術を行うことなく、足の付け根の血管からカテーテルを通じて、治療部位に留置し大動脈瘤を治療します。 保険償還価格 <table><tr><td>標準型（AFX）</td><td>1,320,000円</td></tr><tr><td>ポリマー充填型（Alto）</td><td>1,430,000円</td></tr></table>	標準型（AFX）	1,320,000円	ポリマー充填型（Alto）	1,430,000円	オープンステントグラフト 製品名：Frozenix（自社製品）  大動脈に挿入し拡張することにより血管に固定します。片側の吻合が不要なため、開胸手術を行うものの低侵襲に大動脈瘤の治療を行います。 保険償還価格 <table><tr><td></td><td>1,110,000円</td></tr></table>		1,110,000円	塞栓用コイル 商品名：Avenir（Wallaby Medical社製）  脳動脈瘤内に塞栓用コイルを留置することで血液の流入を遮断し、瘤の破裂(くも膜下出血)を防ぎます。 保険償還価格 <table><tr><td></td><td>82,900円</td></tr></table>		82,900円
分岐なし（ストレート）	117,000円																
1分岐（T字）	179,000円																
2分岐以上（4分岐）	245,000円																
標準型（AFX）	1,320,000円																
ポリマー充填型（Alto）	1,430,000円																
	1,110,000円																
	82,900円																

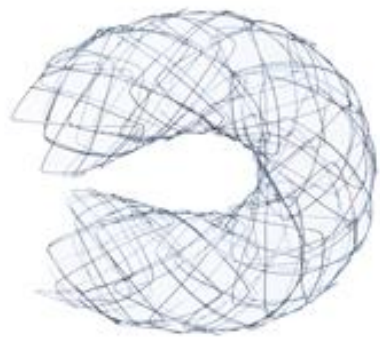
*1 保険償還価格は2023年4月1日現在

✓ 消化器：肝臓や大腸などの消化器疾患を治療する医療機器

消化器

大腸用ステント

製品名：JENTLLY NEO Colonic Stent（自社製品）



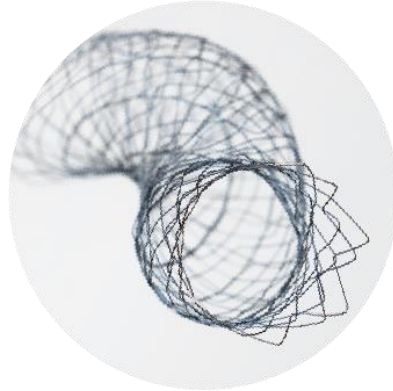
癌により閉塞した大腸を押し広げるために用います。細いガイドワイヤーで閉塞部を通過させた後、これに沿ってステントを展開します。

保険償還価格*1

216,000円

胃・十二指腸用ステント

製品名：JENTLLY NEO Duodenal Stent（自社製品）



癌により閉塞した胃（幽門）や十二指腸を押し広げるために用います。細いガイドワイヤーで閉塞部を通過させた後、これに沿ってステントを展開します。

保険償還価格*1

216,000円

肝癌治療用ラジオ波焼灼電極針

製品名：arfa（自社製品）



超音波(エコー)やCTで観察しながら針状の電極を経皮的に肝癌の病変組織へ挿入し、電極周囲にラジオ波による熱を発生させ病変を焼灼し治療します。

保険償還価格

なし。保険区分A2(特定包括)で特定の診療報酬項目において包括的に評価される。

胆管チューブステント

製品名：REGULUS（自社製品）



胆管が胆石や腫瘍などの圧迫によって狭くなった箇所にステントを留置し広げることで、胆汁の流れを改善して治療します。

保険償還価格

45,600円

*1 保険償還価格は2023年4月1日現在

✓ 国内 4 拠点、海外 1 拠点の体制でメーカー機能を支える

研究開発

研究開発統括部 (埼玉県戸田市)

Medical Technology Park North Square



2018/4～

中核工場

戸田ファクトリー (埼玉県戸田市)

Medical Technology Park South Square



2012/1～

量産・滅菌工場

小山ファクトリー (栃木県小山市)



2014/10～

血管製品の開発・生産

市原ファクトリー (千葉県市原市)



2011/1～

海外工場

マレーシア工場 (マレーシアペナン州)

JLL Malaysia Sdn.Bhd.



2020/6～

ご注意事項

本資料の記載内容のうち、歴史的事実でない事項は、当社の将来に関する見通し及び計画に基づいた将来予測です。特に、商品や製品の導入に係る、治験および薬事承認に係る事項、また発売時期につきましては、過去の経験や入手可能な情報から得られた当社の予測であります。実際の業績は、さまざまなリスクや不確実な要因の影響により、本資料記載の見通しと異なる可能性がありますので、これらの見通しに過度に依存されないようお願いいたします。

本資料に関するお問い合わせ先

日本ライフライン株式会社
経営企画部

TEL:03-6711-5214

E-Mail:ir@jll.co.jp

URL:<https://www.jll.co.jp>